

モニターユニット FPR-1

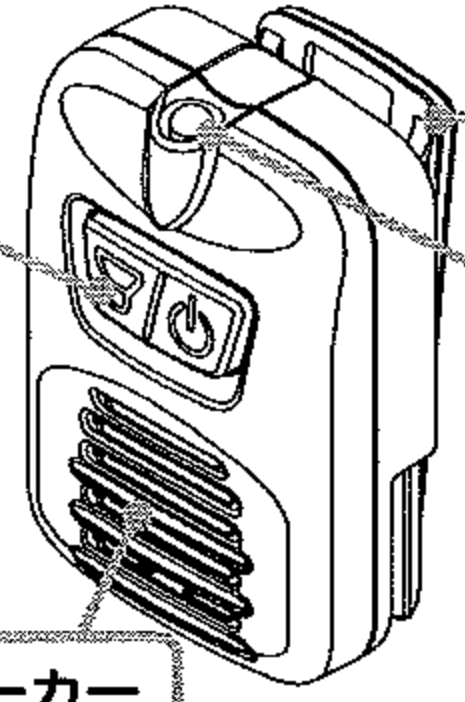
本製品は、FTM-350シリーズの専用モニターユニットで、FTM-350/Hを親機として子機であるFPR-1を呼び出すことができます。

FTM-350/Hのコントロールパネル(背面)に、オプションの充電アダプターCAB-1を取り付ける(2つ取り付け可能)ことにより、FPR-1を最大2台まで充電および、データの転送を行うことができます。

各部の名称と機能

電源スイッチ / 音量スイッチ

- ◎電源を入れる：約2秒以上押す(ピポポッ)
- ◎電源を切る：約5秒以上押す(ピポポッ)
- ◎電源が入っているとき、短く押すたびに音量が“大”“小”交互に切り替わります。
- ◎着信お知らせ(緑色の2秒間隔の点滅)状態の時に、スイッチを短く押すと、着信お知らせを解除することができます。



スピーカー

クリップ (ストラップ取り付け穴付き)

取り付けひもが1mmタイプのストラップを使用してください。通しにくい場合は、先の細いとがった物などを使って通してください。

LED インジケーター

緑の点灯：信号を受信しているとき点灯
充電完了後10分間点灯(CAB-1に取付時)

緑の点滅：着信お知らせ(2秒間隔で点滅)
データ転送完了後0.5秒間隔で点滅

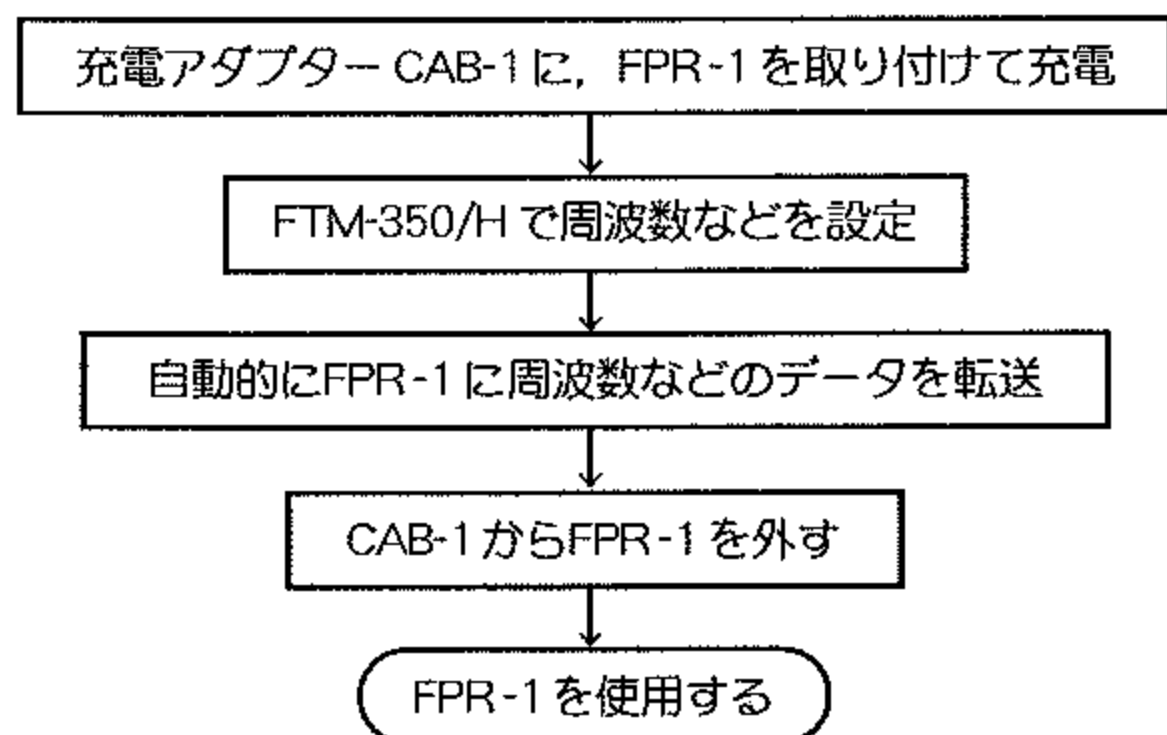
赤の点灯：充電中

赤の点滅：内蔵電池の消耗時(2秒間隔で点滅)
動作異常状態(0.5秒間隔で点滅)

付属品

- 電極保護用アダプター 1
- 取扱説明書(本書) 1

操作の流れ



内蔵電池の充電(充電時間：約150分)

FPR-1に内蔵されているバッテリーが消耗すると、「ピポピポピポッ」という警告音が鳴ると共に、LEDインジケーターが赤の点滅(2秒間隔)になりますので、オプションの専用充電アダプターCAB-1を装着したFTM-350/Hを使用して充電を行ってください。また、初めてご使用になるときや、しばらくの間使用していなかった場合は、必ず充電を行ってから使用してください。

- FTM-350/Hにオプションの充電アダプターCAB-1を取り付けます。
 - 取り付け方法は、FTM-350/Hに付属の“取り付け説明書”をご覧ください。
- 付属の電極保護用アダプターをCAB-1に差し込みます。
 - 電極保護用アダプターは、充電中に誤って電極に接触しないよう保護するアダプターですので、必ず取り付けてください。
- FPR-1をCAB-1に正しく装着すると、LEDインジケーターが赤く点灯して充電を開始します。
 - 充電を開始すると、FPR-1の電源は自動的にONになりますが受信動作は行いません。
- 充電が完了すると、LEDインジケーターが緑の点灯に変わります(CAB-1に取り付けたままの状態では、10分間点灯後消灯します)。
 - 充電は約2時間30分(約150分)で完了します。
 - CAB-1からFPR-1を取り外すと、FPR-1は自動的に受信動作に移行します。

充電時での注意

- 充電中、「ピポピポッ」という警告音が鳴ると共に、LEDインジケーターが赤色に点滅(1秒間隔)した場合は、充電温度エラーの可能性があるので、充電可能温度範囲(0℃～+45℃)で充電してください。

FPR-1にデータ転送して使用する

FTM-350/Hに取り付けた充電アダプターCAB-1に、FPR-1をセットしておくだけで、受信周波数や各種設定をFPR-1に自動で転送してくれます。

- FTM-350/Hに取り付けた充電アダプターCAB-1に、FPR-1をセットします。
- FTM-350/Hのメインバンドで、希望の周波数にあわせませ(430MHz帯のアマチュアバンドでのみ動作します)。
 - FTM-350/H本体のセットモード「OPTION K02 FPR-1」で、バッテリーセーブを4段階、スケルチレベルを9段階で設定することができます。
 - FTM-350/H本体のDCS機能を有効にすることで、FPR-1にDCSを設定することができます。
- 周波数をあわせた後、約5秒間経過すると、FPR-1に周波数などのデータが転送されます。
 - データの転送が終わると、LEDインジケーターが緑色で2回点滅します。
- 充電アダプターCAB-1からFPR-1を外すと、自動的に電源が入り、設定された周波数を受信します。

使用上の注意

- FPR-1は防水構造ではありませんので、水場での取り扱いに注意してください。
- FTM-350/Hの電源を切ったときは、FPR-1を充電アダプターCAB-1から外して電源を切り(電源スイッチを約5秒以上押す)CAB-1に取り付けない状態で保管してください。
- LEDインジケーターが緑色に点灯していてもスピーカーから音が出ない場合は、DCSコードが不一致の状態です。DCSコードを確認してください。
- 内蔵電池が十分に充電されているのに「ピポピポッ」という警告音が鳴り、LEDインジケーターが赤色に点滅(0.5秒間隔)する場合は、動作異常状態の場合があります。もう一度データ転送をして動作確認を行ってください。
- 内蔵電池はリチウムイオンポリマー電池を使用しています。正しく充電すると約300回使用することができます。
- FPR-1を長期保存する場合は、高温高湿以外の場所で保管してください。また、過放電を防止するため、半年に1回程度の充電(50%程度)を行ってください。
- FPR-1のバッテリーがなくなると、周波数や各種設定が初期値(定格参照)に戻ります。

定格

- 音量：大/小 2段切り替え
- 受信周波数帯：430MHz帯のアマチュアバンド
- 受信感度：0.25μV
- 受信可能範囲：約300m(受信環境等により変化します)
- 連続使用可能時間：約8時間(BATT SAVE “MAX”時)
- アンテナ：ワイヤーアンテナ
- 内蔵電池：リチウムイオンポリマー電池(3.7V, 150mA/h)
- 充電可能温度範囲：0℃～+45℃
- 使用温度範囲：-10℃～+60℃
- ケースサイズ：45mm×30mm×15mm(突起物含まず)
- 重量：約23g
- 初期値：周波数 ⇨ 435.100MHz, BATT SAVE ⇨ OFF, SQL LEVEL ⇨ OFF, DCS ⇨ OFF, VOL ⇨ L